不可思議な世なれば巡り合はせにて二月二日が節分となる　服部崇『新しい生活様式』２０２０年

【バレンタインデー】

チョコくれぬ女子にもクッキー用意して「らいねんはチョコください」と書く　俳万智『オレがマリオ』２０１３年

■三月

【雛】

古雛の朱（あけ）の唇もの言はずものを食まずてひねもすの春　築地正子『みどりなりけり』１９９７年

【播種期】

食ひ飽かぬ蕨を採らむ暇なく播種期に入りし十町歩あり　石川不二子『牧歌』１９７６年

【卒業】

卒業の近き少女らこの日ごろ穏しく見えて廊下を過ぎゆく　今泉進『天の狩人』２００３年

卒業式終わってしまいぱらぱらとガラス窓打つ春の夜の雨　清水あかね『白線のカモメ』２０２０年

じわじわと卒業式の身にしみて肩より深く深く呼吸（いき）する　鈴木恵子『久遠の学舎』２０２１年

■四月

【エイプリルフール】

エイプリルフールにふっと島に来てそのまま住みつくそんな人生　俳万智『オレがマリオ』２０１３年

【入学】

今日から皆さんはこの学校の子ですといふ先生の言葉よ子らがききゐる　栗原潔子『寂寥の眼』１９４１年

つんつんとつくしのごとく立つてゆく新入生は名を呼ばるれば　本田一弘『磐梯』２０１４年

制服は未来のサイズ入学のどの子もどの子も未来着ている　俳万智『未来のサイズ』２０２０年

【新学期】

目を合わすことを忘れた初授業空気は不安そうに揺らめく　齋賀万智「心の花」２０２２年11月